

DX検定™

日本イノベーション融合学会*ITBT®検定

『DX検定™』（日本イノベーション融合学会*ITBT®検定） 検定結果と検定概要について（累計データ）

2021.8

日本イノベーション融合学会／DX検定™小委員会
検定事務局：株式会社ネクストエデュケーションシンク

禁無断転載

※「DX検定」商標登録出願中

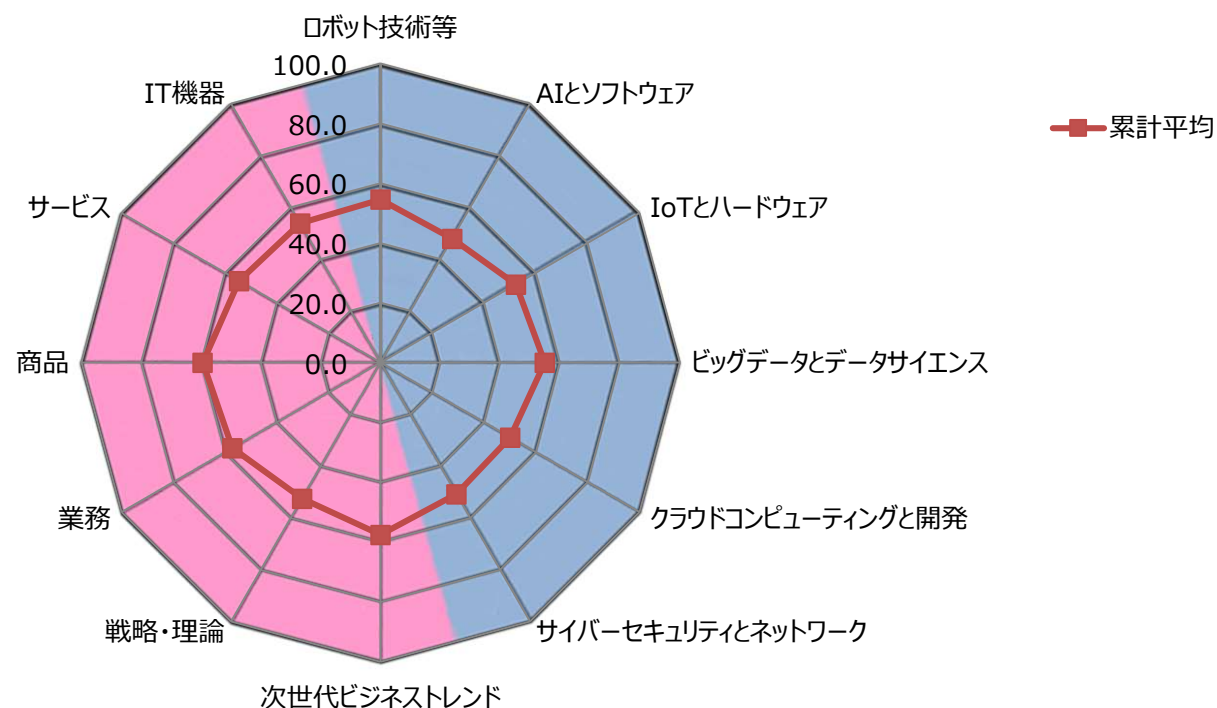
Copyright (C) 2021 IFSJ. All rights reserved. & powered by Next Education Think.

1. 本検定の実施概要

名称	『DX検定™』（日本イノベーション融合学会＊ITBT®検定）	
開催日	年2回開催（1月、7月）	
形式	WEB検定	
概要	IT先端技術トレンド（IT）とビジネストrend（BT）の知識検定	
試験概要	60分間で120問の知識問題（多肢選択式）	
出題領域	IT先端技術トレンド（IT）の6分野とビジネストrend（BT）の6分野	
	【IT先端技術知識トレンド】 1. AIとソフトウェア 2. IoTとハードウェア 3. ロボット技術等 4. ビッグデータとデータサイエンス 5. クラウドコンピューティングと開発 6. サイバーセキュリティとネットワーク	【ビジネストrend】 7. 次世代ビジネストrend 8. 戦略・理論（思想としてのIT） 9. 業務（仕組みとしてのIT） 10. 商品（商品としてのIT） 11. サービス（サービスとしてのIT） 12. IT機器（道具としてのIT）
受検の前提	なし	

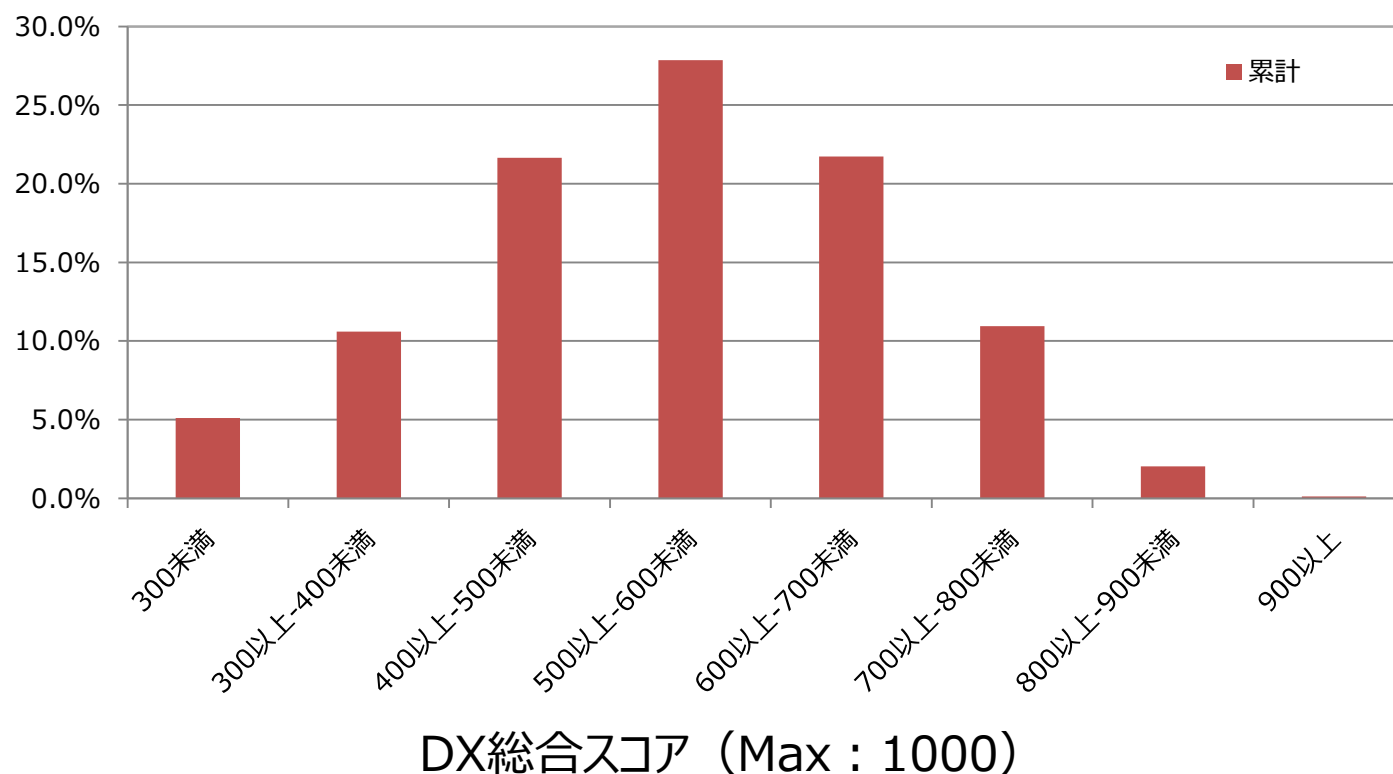
2-1. 検定採点結果（全体平均） 累計

【累計平均】DX検定スコア 538 （ITスコア 259 / BTスコア 279）



項目	区分（スコア）		IT（得点率）							BT（得点率）					
	総合スコア	DX検定	IT	BT	ロボット技術等	AIとソフトウェア	IoTとハードウェア	ビッグデータとデータサイエンス	クラウドコンピューティングと開発	サイバーセキュリティとネットワーク	次世代ビジネストrend	戦略・理論	業務	商品	サービス
累計平均	538.7		259.2	279.5	54.6	47.9	52.3	54.9	50.1	50.8	57.5	52.5	57.2	59.5	54.6

2-2. 検定採点結果（得点別人数分布割合） 累計

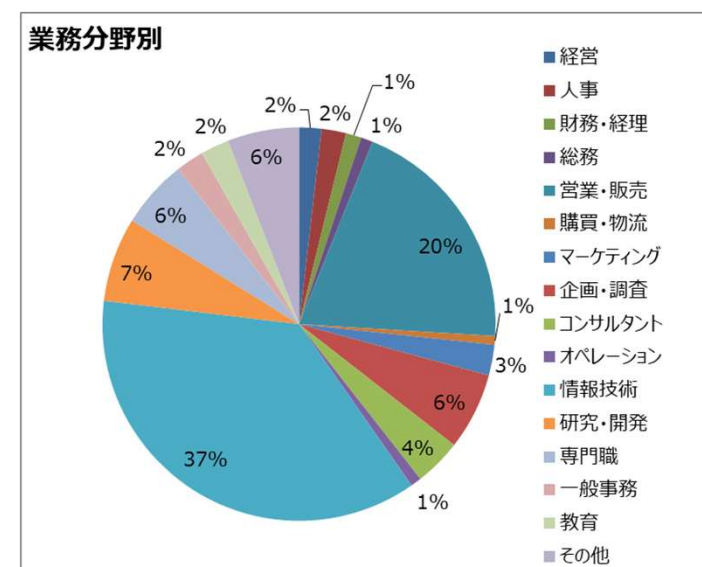
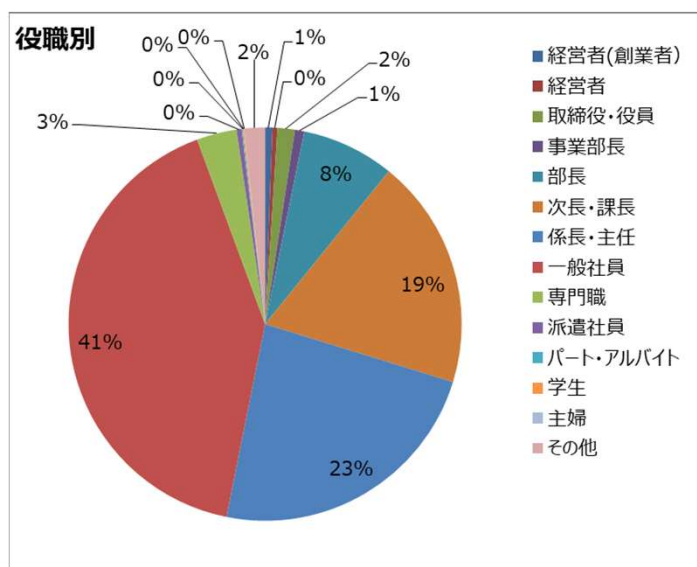
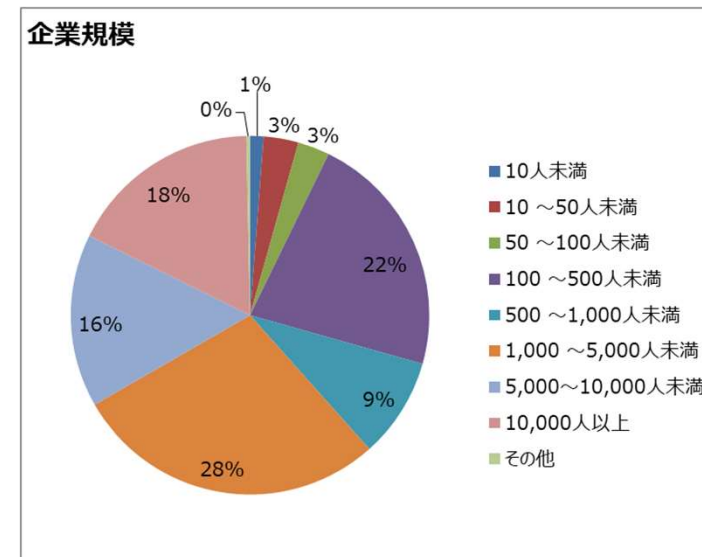
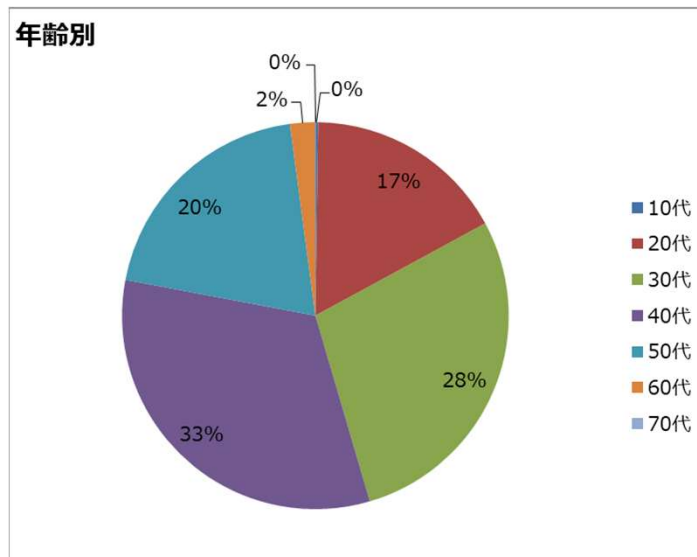


【認定者割合】

認定クラス	累計
DXプロフェッショナル レベル	2.1%
DXエキスパート レベル	10.9%
DXスタンダード レベル	21.7%
未達	65.2%

3. 【参考】受検者 属性-1 累計

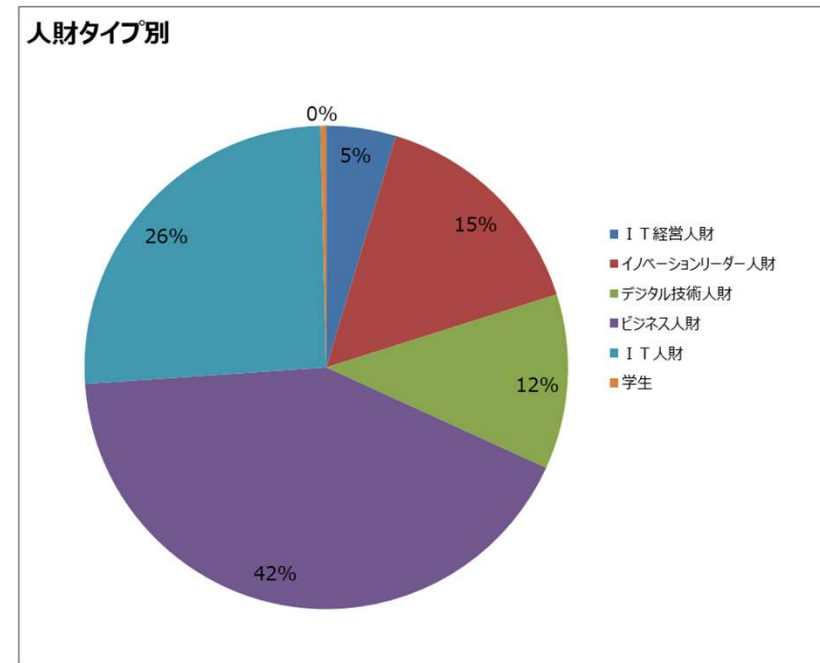
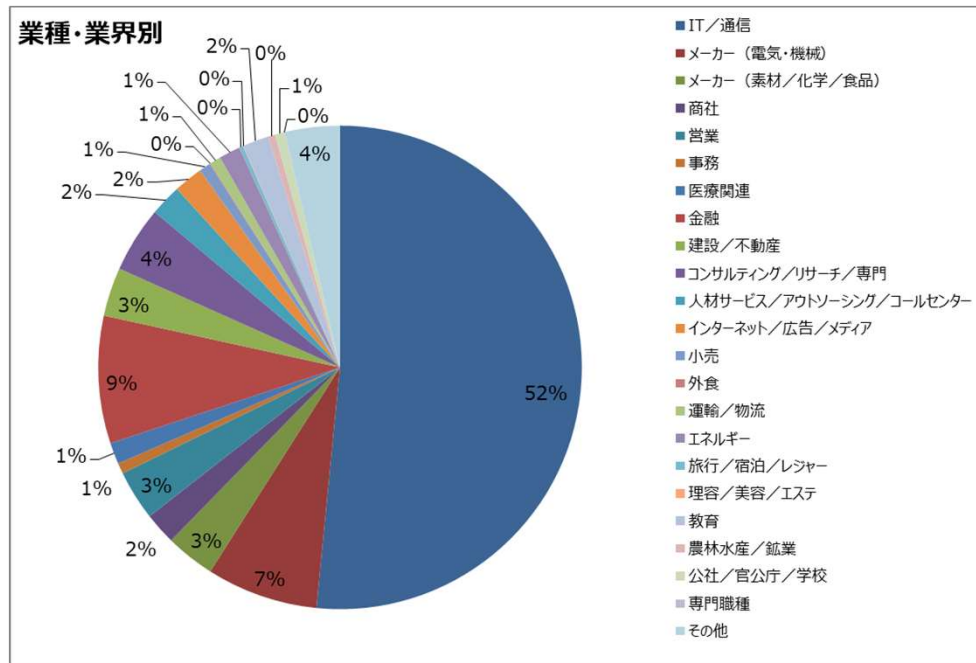
(累計)



※受検者属性は、受検時に受検者が属性アンケートにて回答頂いた内容の集計です。

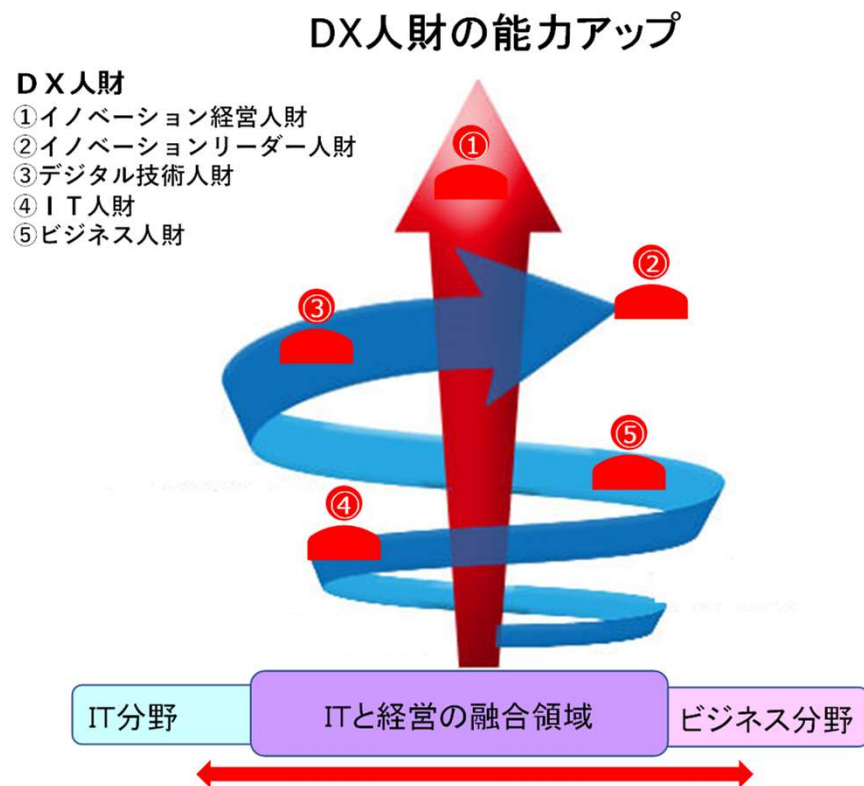
3. 【参考】受検者 属性-2 累計

(累計)



※受検者属性は、受検時に受検者が属性アンケートにて回答頂いた内容の集計です。
また、DX人財タイプは、ご自身の業務タイプに近いものを回答されています。

4. 「DX検定™」（ITBT®検定）における「DX人財」とは



- 左図は、ITと経営の融合領域を拡大させることにより、デジタルトランスフォーメーション時代においてDX人財の能力アップをさせることを表しています。
- DX人財は、IT分野の方がビジネス（経営）分野の重要性を理解し、ビジネス分野の方がIT先端技術の必要性を理解する、すなわち「ITと経営の融合領域」の中に位置づけられます。
- 経営者から現場の担当者まで、IT先端技術を理解しビジネス問題の解決にあたり、新たな製品・サービスの開発にIT先端技術を活用するビジネス環境を想定しています。このようなビジネス環境で、DX人財（①～⑤）がどのように位置づけられるかを右の図中に示しています。

DX人財	概要
イノベーション経営人財	経営にITを活用し、イノベーション、デジタルビジネスを実践する 経営者/専門家
イノベーションリーダー人財	経営変革プロジェクトを推進・実施する イノベーションリーダー
デジタル技術人財	イノベーションプロジェクトでデジタル技術を活用し、 価値創造を実現する技術者
IT人財	IT技術を基盤としたプロジェクトで IT先端技術を実装する技術者
ビジネス人財	現場において、IT先端技術で ビジネス問題解決に従事する担当者または管理者

5. IPAが定義したDX推進人材像と比較した、 「DX検定™」（ITBT®検定）での推奨レベル（案）

〔IPA・DX推進人材像定義との認定レベル・DXスコア対応表〕

IPA定義 DX推進人材像（例）		「DX検定™」ポイントレベル ※「DX検定™」小委員会 で検討中の推奨人材レベル（案）（参考）
人材の呼称例	人材の役割	DX推進人材推奨レベル
プロデューサー	DXやデジタルビジネスの実現を主導するリーダー格の人材（CDO含む）	850ポイント以上 （プロフェッショナルレベル） （CDOは900ポイント以上）
ビジネスデザイナー	DXやデジタルビジネスの企画・立案・推進等を担う人材	800ポイント以上 （プロフェッショナルレベル）
アーキテクト	DXやデジタルビジネスに関するシステムを設計できる人材	800ポイント以上 （プロフェッショナルレベル）
データサイエンティスト ／AIエンジニア	DXに関するデジタル技術（AI・IoT等）やデータ解析に精通した人材	750ポイント以上 （エキスパートレベル）
UXデザイナー	DXやデジタルビジネスに関するシステムのユーザー向けデザインを担当する人材	700ポイント以上 （エキスパートレベル）
エンジニア／プログラマ	上記以外にデジタルシステムの実装やインフラ構築等を担う人材	650ポイント以上 （スタンダードレベル）

出典：独立行政法人情報処理推進機構「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査」（2019年5月17日）

6-1. 本検定を受検された方のスキルアップ領域／参考図書

「DX検定™」（ITBT®検定）は、IT先端技術とビジネストrend知識の検定試験であり、「DX検定™」（ITBT®検定）が、それらの知識レベルを高め、「DX人財」になるための出発点です。そして、IT先端技術とビジネストrend知識の理解度を高め、目標となる「DX検定スコア」を取得するためには、継続的な学習が不可欠です。

以下に、参考図書をご紹介します。（※参考書、eラーニング教材は予告なく最新のものに更新されます）



「図解コレ1枚でわかる
最新ITトレンド 装改訂3版」
（株式会社技術評論社）



「AI白書2020」
（株式会社KADOKAWA）



「イラスト&図解でわかるDX
（デジタルトランスフォーメーション）」
（彩流社）



「インターネット白書2021
ポストコロナのDX戦略」
（インプレスR&D）



「日経テクノロジー展望2020
世界を変える100の技術」
（日経BP）



「プロセスで解き明かす
イノベーション」
（日経BP）



「業界別！AI活用地図8業界36業種
の導入事例が一目でわかる！」
（翔泳社）

6-2. 本検定を受検された方のスキルアップ領域／eラーニング

「DX検定™」（ITBT®検定）は、IT先端技術とビジネストrend知識の検定試験であり、「DX検定™」（ITBT®検定）が、それらの知識レベルを高め、「DX人財」になるための出発点です。そして、IT先端技術とビジネストrend知識の理解度を高め、目標となる「DX検定スコア」を取得するためには、継続的な学習が不可欠です。

以下に、eラーニング講座をご紹介します。（※参考書、eラーニング教材は予告なく最新のものに更新されます）

「DX検定™」（ITBT®検定）準拠学習教材

「DX Study™2021 eラーニング」

利用可能期間：3ヵ月

株式会社ネクストエデュケーションシンク

※内容は半年ごとに最新版に更新されます。



<回答画面>



<解説一覧>



<修了証サンプル>

7. 各種ニュースリリース

「DX検定™」（ITBT®検定）と「DX Study」をセットにした「DXセットパック」を、本年より「新入社員向け」（新入社員パック）、「内定者向け」（内定者パック）、「大学・専門学校向け（アカデミックパック）」の販売も開始されました。

＜新入社員パック＞



株式会社ネクストエデュケーション・シンク
科学的な人材育成、診断、組織分析で個人と企業の成長をトータルに支援



[→ FAQ](#)
[→ 申込みの流れ](#)
[→ 診断料と費用](#)
[→ プライバシーポリシー](#)
[→ サイトマップ](#)

NETの特長	アセスメントサービス	組織分析	人材育成・研修	システム開発・OEM	会社至内
課題別ソリューション	事例	NET診断スペシャリスト	セミナー	コラム	パートナー募集
採用情報					

企業の人材育成全般の
お問い合わせ・ご相談
承っております

☎ 03-5842-5148

受付時間 10:00~18:00 (土日祝を除く)

→ お問合せフォーム

→ メールマガ登録

→ カタログダウンロード



ニュースリリース

株式会社ネクストエデュケーション・シンク「DX」で「ニューズリリース」を
新入社員からオンラインで最新のDXリテラシーを育成し、「DX人財」へ
と意図付け、3か月で「DXエキスパート/DXプロフェッショナル」レベル認定を目指す「DXリテラシー育成・認定 新入社員パック」発表

2020.10.19 ニュースリリース

科学的なHRデック手法でのスキル、コンピテンシベンチャー、株式会社ネクストエデュケーション・シンクは、8月を起る企業が課題とする「DX人材不足」を4月から3か月でDXリテラシーを学び、DXレベル認定。2020年10月19日に緊急発表しました。

※1 日本経済新聞 | ※2 日本企業の経営者向け2020 | 両社発表 | 両社発表



DX 検定準拠 eラーニング
DX Study™

製品・サービス紹介

◆ 診断・人材アセスメント

適性・資質診断



株式会社ネクストエデュケーション・シンク
科学的な人材育成、診断、組織分析で個人と企業の成長をトータルに支援

NETの特長	アセスメントサービス	組織分析
課題別ソリューション	事例	NET診断スペシャリスト

＜内定者パック＞



株式会社ネットエデュケーション・シンク
科学的な人材育成、診断、組織分析で個人と企業の成長をサポートしに支援

 Google検索

[→ FAQ](#)
[→ 申込の流れ](#)
[→ 診断利用案内](#)
[→ フライバーポリシー](#)
[→ サイトマップ](#)

NETの特長	アセスメントサービス	組織分析	人材育成・研修	システム開発・OEM	会社案内
課選別ソリューション	事例	NET診断シベリリス	セミナー	コラム	パートナー募集
 03-5842-5148 受付時間 10:00-18:00 (土日祝を除く) → お問い合わせフォーム → メルマガ登録 → カタログダウンロード			 ニュースリリース 株式会社ネットエデュケーション・シンク「DX」で「ニュースリリース」を8割を超える企業が課題とする「DX人材不足」解消のための第一歩として、企業の「内定者」へ、オンラインで最新のDXリテラシーを育成し、そのDXレベルを認定する「DXリテラシー育成・認定 内定者バック」を10月12日緊急発表		

 Google検索

[→ FAQ](#)
[→ 申込の流れ](#)
[→ 診断利用案内](#)
[→ フライバーポリシー](#)
[→ サイトマップ](#)

人材育成・研修	システム開発・OEM	会社案内
セミナー	コラム	パートナー募集
採用情報		

人・コンピュータ・アセスメント、教育研修、組織・人材分析・コンサルティング部門の教育サービス、デューク・シンク（略称：NET）（本社：東京都文京区、代表取締役：斎藤 隆）

※1「DX人材不足」を解消するための第一歩として、企業の内定者を対象に、入社前かDXレベル認定まで数値できる「DXリテラシー育成・認定 内定者バック」を2020年10

第2弾【第2弾】DX（デジタル・トランスフォーメーション）の取り組み

＜アカデミックバック＞

8. 第8回「DX検定™」開催日程

「DX検定™（日本イノベーション融合学会＊ITBT®検定）」開催概要

（DX人材の可視化検定）

申込・詳細URL：<https://www.nextet.net/kentei/test/index.html>

検定名	「DX検定™」（略称）日本イノベーション融合学会＊ITBT®検定
受検の概要	対象者：個人の受検と企業申し込みの社員など。検定後に学会の検定サイトで全体の結果を発表。認定者には学会の検定委員会承認の「認定証」が発行されます。 ※企業の人材のDXレベルでの組織分析オプションも提供可能。
試験概要	60分間で120問の知識問題（多肢選択式）出題。 Web受検 PC、タブレットでの受検が可能
出題問題	最新IT技術分野・ビジネストrend分野全般の必須知識項目から出題 推奨参考図書はWebサイトで案内
受検料	6,600円（税込） （検定サイトから、①法人申し込みでの事前受付、②個人申し込み） ※学生割引の適用は、学校経由での団体申込みとなります。
第8回開催日	（法人）2022年1月20日（木）～ （個人）2022年1月23日（日）～ ※第8回は、受検開始時刻事前選択方式となります。
検定結果発表予定	検定実施日の1カ月後を予定。